



世三

列仁軌逆長の徒黨とゆらとす

唐のころ乃何列仁軌を初とつしつとす後せられ
 別突辟といふひと習俗は(空列)とせめ合るは
 乃事(空)とつすのえひと心と合を(空)とつりて
 入ふの大わきこみありけと新ありてあられなき(空)と
 まあめり(空)と事(空)と事(空)と事(空)と事(空)と
 せん(空)と事(空)と事(空)と事(空)と事(空)と
 とける(空)と事(空)と事(空)と事(空)と事(空)と
 ら(空)と事(空)と事(空)と事(空)と事(空)と
 れ(空)と事(空)と事(空)と事(空)と事(空)と

智恵鑑巻第十

雜智目録

- 一 國師の信牛とねとす
- 二 信牛とねと人の事
- 三 信目乃(空)と(空)と(空)と(空)と
- 四 耳とかまれて命とた(空)と(空)と
- 五 信(空)と(空)と(空)と(空)と
- 六 (空)と(空)と(空)と(空)と(空)と(空)と
- 七 腹中の(空)と(空)と(空)と(空)と
- 八 何り病(空)と(空)と(空)と(空)と

